

事業概要【新しい働き方を通じた関係人口創出・移住者拡大事業】

申請者	愛知県蒲郡市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	26,452千円 (6,050千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	地理的優位性や地域資源など本市の強みを活かし、次世代のまちづくりの担い手である若者の視点も含めた二拠点居住やワーケーションなど新たな住み方、働き方を主軸とした戦略を構築するとともに関係・交流人口の拡大、二拠点居住の促進、移住者の拡大を図る。「住む場所」、「働く場所」、「訪れる場所」として、選ばれる地域となるよう、関係人口の創出、移住者の増加及び定住を促進し、活力ある地域づくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 ・二拠点居住やワーケーションを含めた移住をプロモーションするため、展示会、マッチングイベントなどに出展し、本市の良さを直接移住を検討している方に発信する。 ・移住相談窓口開設に向けて、人材の掘り起こしと施設や事業の磨き上げを図る。 ・本市の暮らしを伝え、移住候補者へ相談にのるなど移住関係事業を官民連携で行う「移住定住促進サポーター」（仮称）を創設するなど地域一丸となった移住希望者への受入れ体制を整備し移住者への相談体制の強化、裾野を拡大する。 【主な経費】 「移住定住相談窓口」の機能拡充を目的に、行政と各相談窓口をつなぐ等の中間支援組織の役割を担う組織確立を目指すもの。調査を実施し、結果をもとに適した団体と移住者に対する継続的な支援体制の提供に向けた準備・調整をする。 ・移住者サポート事業 6,050千円						
地域の多様な 主体の参画	・【産】蒲郡市観光協会…中間支援組織として、移住定住サポーター（仮称）をとりまとめるとともに、サポーター登録していない事業者や先輩移住者との情報共有や協力・連携を図る役割を担う。 ・【学】若者議会…高校生・大学生を主として20代までの若者が集う場であり、若者世代の意見を提供してもらう。 ・【住民全般】…移住希望者及び新規移住者の地域への受け入れや暮らしの困りごとの相談相手となり助言を行う等、地域の暮らし方のサポートを行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者（+141人） ②首都圏での蒲郡市の認知度（+2.3%） ③「移住定住促進サポーター」（仮称）の登録者数（+14人） ④「移住定住促進サポーター」（仮称）の相談件数（+30組） ⑤事業参加者・利用者を経た移住者数（+7人）